

2024年セーリングスピリッツ協会事業報告

1. 協会規則の改正

1) SS協会会則とクラス規則への分離

協会規則に混在していた協会組織・運営の会則とクラス規則を分離し、4月1日に施行した。
このことで、ルールが整理され、ガバナンスやコンプライアンスが強化された。

2. 大会の開催（主催、後援）

1) 九州選手権大会 4艇参加

6月1日～2日 佐賀県ヨットハーバー

2) 関西選手権大会 5艇参加

6月15日～16日 新西宮ヨットハーバー

3) 西宮セーリングカップ（海の甲子園） 11艇参加

8月24日～25日 新西宮ヨットハーバー

4) 第24回全日本選手権大会の開催（兼国スポリハーサル大会） 6艇参加

9月13日～16日 柳ヶ崎ヨットハーバー

5) SAGA2024国民スポーツ大会セーリング競技会 30艇参加（昨年比1艇増）

9月26日～10月1日 佐賀県ヨットハーバー

6) 東北SS合同練習会&クリニック in 宮古

5月3日～6日 岩手県リアス式ハーバー宮古

岩手県セーリング連盟主催で、東北水域の選手を中心に開催され、7艇の参加があった。アドバイザーとして岐阜県の日比野絵美氏を派遣した。

3. 選手とのコミュニケーション

1) クラスミーティングの開催

佐賀国スポ会場内に於いて、SS協会クラスミーティングを実施した。支部長の紹介や選手LINEグループの活用、事業年度の期間変更について説明を行った。栃木国体から3回目の開催となり、選手との距離が近くなり、問題点や課題等を共有できるようになってきた。

2) SNSの利用

LINEグループでの選手への情報提供、アンケート収集を行った。
本日現在の登録者数は、95名。

3. その他

1) 艇体・パーツの値上がりについて

円安、材料費の高騰を受けて、艇体、艀装品、セールそれぞれが値上がりした。協会ホームページ、選手ラインを通じて、選手関係者へアナウンスを行った。

2) 水域活性化の合同練習会について

東北の合同練習会を参考に、コーチ派遣ガイドンスを作成した。できる限り県連主催での開催を支援し、協会は講師の派遣を検討する。

2025年セーリングスピリッツ協会事業計画書

■基本方針

「セーリングの技術を高め合い、セーリングを楽しむ」ことを目的として、選手と共に進化を続ける協会として各種事業を展開する。

■事業計画

1. 各種大会の主催・共催

- 1) 関西選手権大会 6月14日～15日(西宮)
- 2) 西宮セーリングカップ(海の甲子園) 8月23日～24日(西宮)
- 3) 第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 9月13日～15日
(青森 むつ市 大平マリーナ)
- 4) 第79回滋賀国スポセーリング競技 9月28日～10月1日(大津)

2. クリニックの開催

- 1) 水域練習会・合宿などに講師を派遣し、クリニック開催の支援を行う
 - ①東北 岩手県宮古 5月4～5日(暫定)
 - ②中国 山口県光 5月3～4日
 - ③関西 滋賀県大津 7月19～21日

3. 普及・啓発事業

- 1) ホームページの充実
- 2) 動画編集
- 3) 環境キャンペーンへの参加

4. 選手とのコミュニケーション

- 1) クラスミーティング(国スポ会場)
- 2) LINEによる情報提供
- 3) JSAF 広報委員会・国スポ委員会等へ情報提供、WEBへの掲載依頼

5. クラスルールの管理

6. 計測員の更新(2025-2028)